

小中高生・高専生向け 「未踏ジュニアキャンプ」開催のお知らせ

一般社団法人未踏（以下 Mitou Foundation、所在地：東京都渋谷区、代表理事：竹内 郁雄 <http://www.mitou.org>）は、2017年3月31日から4月2日までの3日間、21世紀型イノベーションの創出を担う小中高生・高専生を対象とした「未踏ジュニアキャンプ」を開催します。（イベントページ：<http://jr.mitou.org/camp/>）これは、テクノロジーを使って解決したい問題・アイデアを持つ17歳以下の小中高生及び高専生が、未踏卒業生やその他の学术界、産業界のトップ人材による専門的な指導を受けることでアイデアのブラッシュアップを行うことを目的としたキャンプです。参加無料、交通費負担で、応募締切の1月29日までに提出頂いた、現時点でのアイデアやプランをもとに選考されます。

経済産業省所管の独立行政法人情報処理推進機構（以下 IPA）の事業である未踏 IT 人材発掘・育成事業（以下未踏事業）は、これまでに起業家やクリエイター等、天才的かつ創造的人材を数多く輩出してきました。未踏事業採択者の多くは大学生、もしくは大学院生ですが、これまでも数は少ないながらも複数の中高生が採択されています。しかし、未踏事業への応募に際して大学や研究室といった環境を利用してアイデアにフィードバックを受けることができるチャンスが多い大学生や大学院生と比べると、小中高生・高専生の採択率は低いのが実情です。

一方で、2020年からのプログラミング教育の義務教育化を前に、プログラミングは既に人気の習い事になり、プログラミングを学ぶ小中高生の数は増え続けています。一方で、これらは「どう作るのか」を教えることを主眼においており、「何を作るべきなのか」というアイデアに対する議論をする場ではないことが多く、彼らに広い活躍の場を提供することが急務になっています。そこで Mitou Foundation

では、そんな彼らのアイデアをブラッシュアップし、21世紀型イノベーションの創出を担う創造的人材を発掘育成するべく、本キャンプを開催することとしました。

本キャンプでは、いくつかの専門的なグループに別れて（予定:IoT/ロボット、AI/人工知能、OS/プログラミング言語、サービス開発）、それぞれの専門家から指導を受ける機会が与えられます。また、学术界及び産業界のトップ人材による講演も予定しており、今後の人生におけるロールモデルを見つけってもらうことも目的とします。また、未踏ジュニアキャンプの採択者は自動的に2017年6月より開始予定の2017年度未踏ジュニアにおける一次選考（書類審査）免除の権利を付与されます。

本事業は、公益財団法人 江副記念財団の平成29年度助成事業に採択を受け、次代を担う若者たちが世界を舞台に活躍をする一歩となる活動としてサポートを頂いております。

未踏ジュニアキャンプ概要

イベント ページ: <http://jr.mitou.org/camp/>

応募締切: 2017年1月29日 23:59

【日時】 2017年3月30日(金) - 4月2日(日)

【対象】 2017年4月1日時点で17歳以下の個人

【採択人数】 10 - 15人程度

【場所】 ホテルコンチネンタル府中 (<http://www.hotel-continental.co.jp/>)

(3日目については発表会場を都内にて別途検討中)

【参加費】 無料 会場までの往復の交通費も負担されます。

【プログラム】

- アイデア・プランに関するプレゼンテーション
 - 未踏事業 OBOG によるメンタリング
 - 未踏事業 PM、その他外部スピーカーによる講演
-

講演者プロフィール

夏野 剛氏 (慶應義塾大学政策・メディア研究科特別招聘教授/未踏 IT 人材発掘・育成事業統括 PM/一般社団法人未踏理事)

カドカワ、トランスコスモス、セガサミーホールディングス、ぴあ、グリー、DLE、U-NEXT、日本オラクルなどの取締役を兼任。経産省 産業構造審議会臨時委員。スマホの先駆けとなる携帯「iモード」サービスを1999年にドコモより立ち上げ、ビジネスウィーク誌にて世界のeビジネスリーダー25人の一人に選ばれる。現在は、慶應大学で教鞭をとる傍ら、上場企業の実務取締役を兼任。経産省や内閣府では、各種委員会のブレーンとして委員も務める。

竹迫 良範氏(高知工業高等専門学校客員准教授/未踏 IT 人材発掘・育成事業 PM)

学生時代に日本語全文検索エンジンのOSS開発に参加。在学中にECサイト構築を手掛けた後、卒業後ITベンチャーにて大企業向けEIP製品を開発、大規模対応と国際化を担当。上京し民間研究所にて中長期のR&Dの傍ら、産学官連携と人材育成に携わる。

馬田 隆明氏(東京大学産学協創推進本部 本郷テックガレージ ディレクター)

日本マイクロソフトでのVisual Studioのプロダクトマネージャー、テクニカルエバンジェリストを経て、スタートアップの支援を行うMicrosoft Venturesに所属。2016年6月より現職。スタートアップ向けのスライドなどの情報提供を行っている。

メンターとして参加予定の未踏OBOG(予定)

上田 真史 (IzumoBASE 株式会社)

2006年度下期末踏ユーススーパーリエータ。博士(情報理工学)。ソフトウェアエンジニア。低レイヤーやハードウェアに興味があり、社団法人未踏にてIoT研究会を主宰。IoT合宿では、ハードウェア初心者から本職まで未踏OBを集めて知識共有をはかり、未踏人材のIoT分野への進出を支援している。

落合 陽一氏 (メディアアーティスト/筑波大学助教)

1987年 東京都生まれ. メディアアーティスト, 筑波大学助教 デジタルネイチャー研究室主宰, VRC 理事.

筑波大学でメディア芸術を学び, 東京大学で学際情報学の博士号を取得 (学際情報学府初の早期修了者)。2015年より筑波大学助教。映像を超えたマルチメディアの可能性に興味を持ち、デジタルネイチャーと呼ぶビジョンに向けて研究に従事。映像と物質の垣根を再構築する表現を計算機物理場 (計算機ホログラム) によって実現している。IPA よりスーパークリエイター/天才プログラマーに認定。World Technology Award 2015年、世界的なメディアアート賞であるアルスエレクトロニカ賞受賞など、国内外で受賞歴多数。

久池井 淳氏(Accenture Open Innovation Initiative)

2007年度未踏ユース OB。自身の知的財産やプロダクトを大企業と組んで事業化するなど、オープンイノベーションの領域で活動を続け、経産省から "Innovative Technologies" で表彰。グローバルなイノベーションに関わることを希望して外資コンサルに就職後は、ベンチャーや研究機関などが持つ技術の "翻訳家" として、新規事業や協業を通じた新技術の活用による、大企業のイノベーション促進を担当。

鈴木 遼氏(早稲田大学 博士後期課程)

早稲田大学基幹理工学研究科表現工学専攻, 長研究室所属 (博士後期 1年) . 2013年度 IPA 未踏 IT 人材発掘・育成事業採択, 同年度スーパークリエイター認定. プログラミングを楽しく簡単にする, インタラクションのためのプログラミングツール「Siv3D」を開発. 早稲田大学の中高生向け情報科学教室では C++ プログラミング講座を担当.

関 喜史氏(株式会社 Gunosy 共同創業者)

未踏 2011 コクリエイター(西嶋プロジェクト) 株式会社 Gunosy において創業期から主にニュース配信ロジックの開発を担当. 推薦システムを中心としたウェブマイニング, 機械学習応用, 自然言語処理応用が専門. 東京大学大学院博士後期課程在籍中

寺本 大輝氏(ハックフォープレイ株式会社 代表取締役)

1994 年生まれ。16 歳でプログラミングと出会い、その面白さに感動しプログラミングの虜になる。2014 年 7 月に HackforPlay を開発し、CVCK Award 2014 で優秀賞を受賞。同年 12 月に金沢で起業。2015 年に起業家甲子園で総務大臣賞、マイクロソフト賞、セプテーニ賞、D2C 賞、KLab 賞を受賞。自社サービスを開発する他、子供向けのワークショップなども開催している。

中山 心太氏

未踏ユースの OB です。いろいろと分野を転々としているので、半導体製造、情報セキュリティ、ゲームデザイン、データ分析、機械学習、コンサルティング等々について、コメントできるかと思えます。なんでも屋です。

西尾 泰和氏(サイボウズ・ラボ/未踏社団理事)

2002 年度スーパークリエイターに認定。理学博士+技術経営学修士。現在はサイボウズ・ラボにて研究開発に従事。著書：コーディングを支える技術。

本多 達也氏(UI デザイナー/富士通株式会社総合デザインセンター)

1990 年 香川県生まれ。大学時代は手話通訳のボランティアや手話サークルの立ち上げ、NPO の設立などを経験。人間の身体や感覚の拡張をテーマに、ろう者と協働して新しい音知覚装置の研究を行う。2014 年度未踏スーパークリエイター。第 21 回 AMD Award 新人賞。2016 年度グッドデザイン賞 特別賞。現在は、富士通株式会社総合デザインセンターにて Antenna の開発に取り組む。

安川 要平氏(CoderDojo Japan 代表理事 / YassLab 代表)

米国留学中に開発した震災対策アプリのヒットを契機に、帰国後、起業。主にアジャイル開発や教育事業、翻訳技術研究に従事。IPA 未踏スーパークリエイター、TEDxRyukyu スピーカー。Rails チュートリアルや Rails ガイドの功績が評価され、フクオカ Ruby 大賞や RubyWorld Conference にも登壇。子どものためのプログラミング道場「CoderDojo Japan」の代表理事および未踏ジュニアの PM も務める。

Mitou Foundation について

一般社団法人未踏（Mitou Foundation、所在地：東京都渋谷区、代表理事：竹内郁雄 <http://www.mitou.org>）は、経済産業省所管の独立行政法人情報処理推進機構（IPA、所在地：東京都文京区、理事長：富田 達夫）の事業である未踏事業のOB/OG や関係者を中心に、起業家やクリエイター等、天才的かつ創造的人材を多角的に支援し、日本横断的なネットワークをつくることで、IT を中心とした日本のイノベーションを加速させることを目的に設立された社団法人です。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

jr@mitou.org (担当: 鵜飼)